平成 31 年度「乳幼児教育保育推進体制の充実・活用強化事業」における主な取組の報告について

1 乳幼児教育保育アドバイザーの派遣・育成

学識経験者、公立の幼稚園及び保育園の元園長等、幼稚園、保育園、小学校において指導・助言等の経験がある特別支援、防犯、防災及び心理の分野に関して知見または職務経験を有する者等、計 24 名を乳幼児教育保育アドバイザー（以下「アドバイザー」という。）として委嘱し、園等の実情に即した助言・指導等を行うとともに、園内研修や保護者向け講演会などの講師を務めた。

また、「乳幼児教育保育アドバイザー連絡協議会」を開催し、アドバイザーの資質・能力の向上に関する実践発表やグループ討議等を通して、指導・助言等に関する意見交換を行うとともに、「乳幼児教育保育アドバイザー業務マニュアル」や「乳幼児教育保育実践事例集」の作成に取り組んだ。

【アドバイザー派遣実績（平成 31 年度については 12 月末現在）】

< 派遣施設別 >

(単位：施設、回)

区分		幼稚園		保育園		認定 こども園	小学校	企業主導 型保育施 設等	その他	計
		公立	私立	公立	私立					
平成 31 年度	施設数	14	7	38	12	2	3	15	6	97
	回数	33	9	69	23	3	3	26	22	188
平成 30 年度	施設数	19	7	32	12	2	4	2	7	85
	回数	62	17	67	17	3	5	8	12	191

< 派遣内容別（平成 31 年度） >

(単位：回)

区分	遊びや 生活	特別 支援	幼保小 連 携	保育者の 資質向上	保護者 支 援	園の 運 営	危機管理 (防災等)	その他	計
回数	45	22	7	35	30	7	33	9	188

【乳幼児教育保育アドバイザー連絡協議会】

開催日	参加者	内 容
第 1 回 令和元年 5 月 16 日 (木)	17 名	<ul style="list-style-type: none"> 全体協議 「業務マニュアル『訪問において大切にしたいこと』」 グループ討議 「保育者をサポートする際の工夫」
第 2 回 令和元年 7 月 4 日 (木)	17 名	<ul style="list-style-type: none"> 実践発表 「ストレスを味方にする養育」 ～教育・保育現場の職員や保護者にこれまで伝えてきたこと～ 実践発表に関する全体協議
第 3 回 令和元年 9 月 19 日 (木)	12 名	<ul style="list-style-type: none"> 全体協議 「業務マニュアル『訪問までの流れ』」 グループ討議 「アドバイザーの多様な役割」
第 4 回 令和元年 11 月 7 日 (木)	17 名	<ul style="list-style-type: none"> 全体協議 「業務マニュアル『効果的な訪問に向けて』」 「養成校への支援」
第 5 回 令和 2 年 1 月 16 日 (木)	16 名	<ul style="list-style-type: none"> 全体協議 「業務マニュアル『効果的な訪問に向けて』」 「防犯・防災に関する支援」
第 6 回 (予定) 令和 2 年 3 月 5 日 (木)	18 名	<ul style="list-style-type: none"> 業務マニュアル完成に向けた全体協議

【第2回】(予定)

日時	令和2年2月4日(火)
場所	広島市総合福祉センター(BIG FRONT 5階 ホールA~C)
参加者	153名(幼稚園教諭14名、保育士139名)
内容	実践発表 ・ 広島市立安幼稚園 教諭 中岡樹里 「夢中になって遊び、共に育ち合う子どもを育てる保育実践 ~絵本の読み聞かせを通して~」 ・ 社会福祉法人順正寺福祉会 順正寺こども園 保育教諭 仁田菜月 「一人ひとりを大切にする保育 ~子どもの興味・関心からはじまる遊びを通して~」
	グループワーク 「保育実践を振り返って」

3 県等と連携した域内全体の幼児教育・保育の質の向上

(1) 県教育委員会の幼児教育アドバイザー等との役割分担と連携

広島県教育委員会においても幼児教育アドバイザーの派遣を行っており、派遣対象が重複していることから、域内全体の幼児教育・保育の質の向上に向けた連携策について、県乳幼児教育支援センターと協議を行ってきた。

今年度は、県乳幼児教育支援センターが企業主導型保育施設等に対して幼児教育アドバイザーの派遣制度を周知することが比較的困難であることを踏まえて、本市アドバイザーがそうした施設を訪問する際に、県が推進する『「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン』などの紹介を行った。

(2) 広島広域都市圏へのアドバイザー派遣

本市では、本市及び本市周辺市町で構成される広島広域都市圏の資源を圏域全体で活用する様々な施策を展開していることから、幼児教育・保育の質の向上に向けて、市内のみならず周辺市町の幼稚園・保育園等へのアドバイザー派遣についても検討を行ってきた。

今年度は、安芸高田市保育士連盟主任保育士部会が開催する研修会に研修講師としてアドバイザーを派遣し、指導・助言等を行った。

【安芸高田市保育士連盟主任保育士部会研修会】

	8月27日(火)	10月7日(月)
参加者	主任保育士 12名	
テーマ	保育者の資質向上	
内容	組織マネジメントに関する研修	保護者支援に関する研修
参加者の所感 ~ 抜粋 ~	<ul style="list-style-type: none"> 組織における役割を認識し、職場の雰囲気づくりに生かしていきたい。 若手職員育成の意欲向上につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> 各園での研修につなげていきたい。 職員間で連携し、共通認識の下でチームとして協働して取り組んでいきたい。

4 今後の方向性

(1) 乳幼児教育保育アドバイザーの育成・派遣

今年度アドバイザー派遣を行った園等からの報告書には、その全てから継続してアドバイザーによる支援を求めているとの回答を得ていることから、引き続き、園等へのより効果的・継続的な支援や

アドバイザーの資質・能力の更なる向上を図っていく必要がある。また、指導・助言等の経験が豊富なアドバイザーを「乳幼児教育保育スーパーバイザー（仮称）」として育成することを検討するとともに、今後需要が見込まれる「虐待」や「衛生管理」の分野に関して知見または職務経験を有する人材の確保に努める。

さらに、園等からの依頼に基づいて派遣を行うことによる支援のみならず、公立幼稚園の研究推進園と連携して計画的に継続したアドバイザーの派遣を行い、研究推進園における研究成果の蓄積・発信につなげる。

(2) 人材育成方針の作成・活用

平成 31 年度に作成する「幼稚園教諭・保育士等の人材育成の基本的な考え方」を踏まえて、一体的な研修体系を作成し、幼稚園教諭・保育士等に対する効果的な研修などの人材育成につなげる。

(3) 県・市町と連携した域内全体の幼児教育・保育の質の向上に向けた取組

県乳幼児教育支援センターが実施する研修会等に本市アドバイザーを派遣して資質・能力の向上を図るとともに、引き続き、域内全体の幼児教育・保育の質の向上に向けた取組を進めるために、県の乳幼児教育支援センターにアドバイザー派遣の依頼があった際には、必要に応じて本市へ情報提供をしてもらうことなどにより本市アドバイザーの専門分野を生かした支援の展開につなげる。